

平成 24 年 12 月 20 日
医政局研究開発振興課

i P S 細胞を利用した創薬研究支援事業の公募結果

i P S 細胞研究がノーベル賞を受賞するなど、再生医療研究に関する国際競争は、激化してきており、日本の i P S 細胞研究について、創薬研究を含め、更に推進する施策の早期実施が必要と考えます。

そこで、i P S 細胞の研究の促進を図るための機器等の基盤整備を補助し、各種疾患に対する創薬のための開発環境の整備を推進することとしました。

このたび、厚生労働省で、公募により本事業の実施機関を募集した結果、次の 9 機関を選定しましたので公表いたします。

- ・ 医薬基盤研究所
- ・ 大阪大学
- ・ 九州大学
- ・ 京都大学
- ・ 熊本大学
- ・ 慶應義塾大学
- ・ 国立成育医療研究センター
- ・ 自治医科大学
- ・ 東京大学

(五十音順)

1 事業概要

- i P S細胞を利用し、画期的な新薬を開発するための事業。
- 選定された機関は、以下の体制を整備。
 - ・ 難病等の患者由来の i P S細胞を利用し、当該疾患に対する創薬シーズを探索する体制
 - ・ i P S細胞を肝細胞等に分化させ、その細胞を利用した薬剤候補物質の安全性を評価する体制
- 各機関から提出される整備計画に基づき、1 機関当たり 2.5 億円の範囲内で、体制整備に必要な事業費を補助。
- 補助期間は平成 24 年度。

2 選定の過程

- 全国の病院又は研究機関を対象に、11 月 30 日から 12 月 6 日まで公募を行い、17 機関から応募。
- 臨床研究・治験等の専門家の計 6 名から構成される会議を設置し、提出された応募申請書について、同会議構成員により評価。
- 会議の評価結果を踏まえ、厚生労働省において 9 機関を選定。